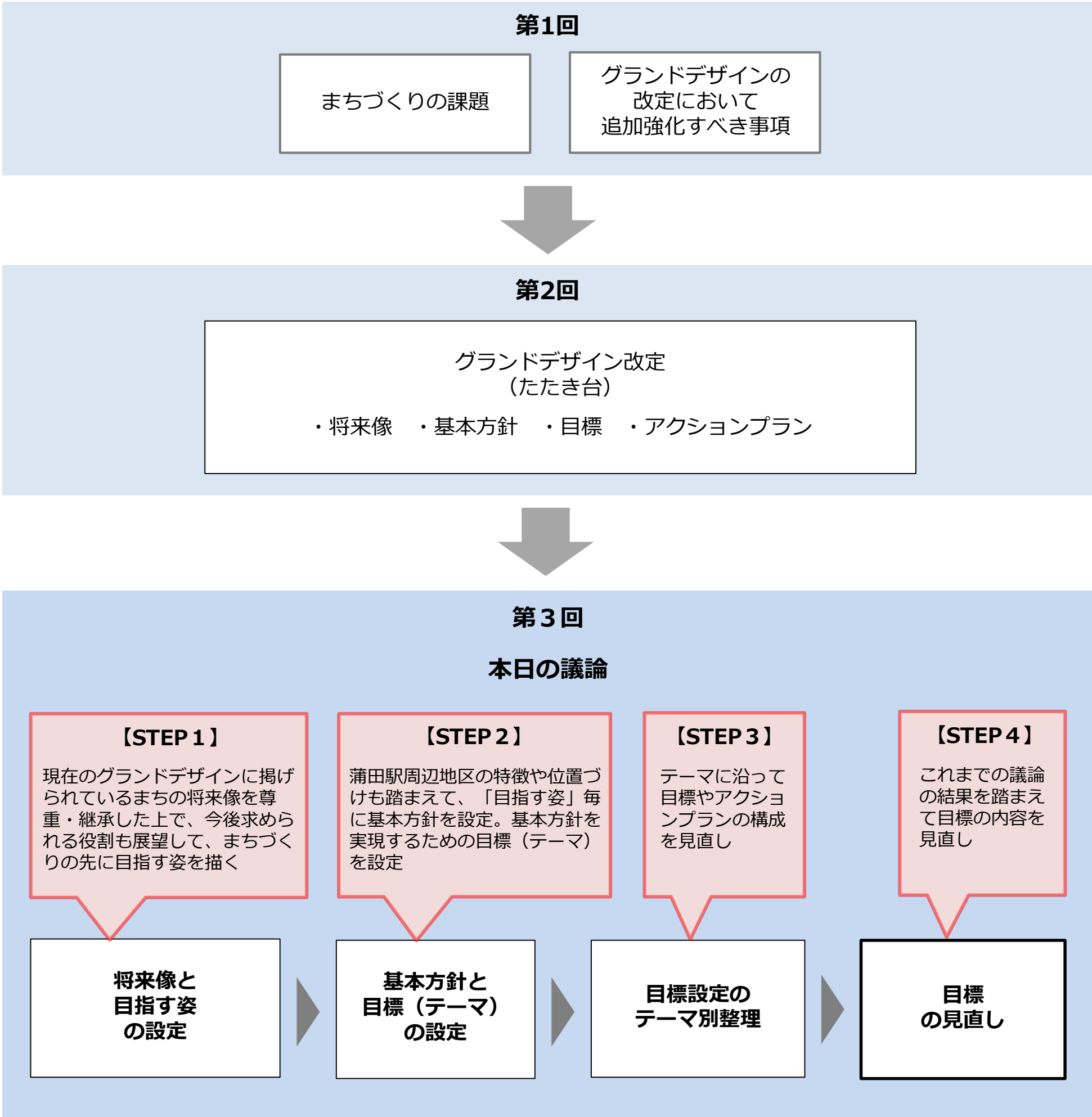


1. 第3回の論点と作業フローについて



- 現在のランドデザインに掲げられているまちの将来像を尊重・継承した上で、今後求められる役割についても展望する。
- まちの将来像と役割を踏まえて、まちづくりの先に目指す姿を描く。

まちの将来像

にぎわいあふれる多文化都市
誰もが安心して気持ちよく過ごせる
人にやさしい蒲田



誰もが安心して利用できるバリアフリーな駅舎、まちの東西を自由に行き来することができる連絡通路を抜けると、まちのシンボリックな風格ある駅前広場に出ます。広場はゆったりとした歩行者空間が広がり、高齢者、子ども、障がい者など誰にとっても移動しやすく快適であるように整備が行き届いています。オープンスペースでは野外コンサートなどが行われていて、まちに集う人たちのたまり場となっています。駅前から連なる商店街は、個性と魅力あふれる店が集積し、ショッピングや蒲田の食文化を楽しむ周辺居住者や観光客でにぎわっています。付近には、呑川緑道・旧逆川道路など、季節の移ろいを感じさせる魅力あふれる散策路があり、まちに新たな回遊を生みだしています。まちは、街路や建物・店先の清掃が行き届き、地元ボランティアによる花壇づくりや防犯パトロールなどにより、気持ちよく安心・安全な空間となっています。

包容力のある蒲田のまち、その居心地のよさと多文化な魅力は人をひきつけ、エネルギーを生み出しています。

求められる役割

【これまで】

蒲田は東海道軸上に位置する商業業務地として発展してきました。また、ものづくりのまち大田の中心的役割も担っています。

【求められる役割】

新空港線や空港跡地の進展により新たな広域都市軸（新空港線軸）が形成され、東京都心や羽田空港との連携が強化されるなか、東海道軸と新空港線軸の結節点に位置する重要な地域の拠点としての役割が求められます。

重要な地域の拠点としての役割を果たすためには、交通結節点としての利便性を活かしながら、『広域的な拠点性を高める機能の強化・充実』と、『鉄道沿線の日常的な生活を支える機能の強化・充実』を両輪で進めていくことが必要です。

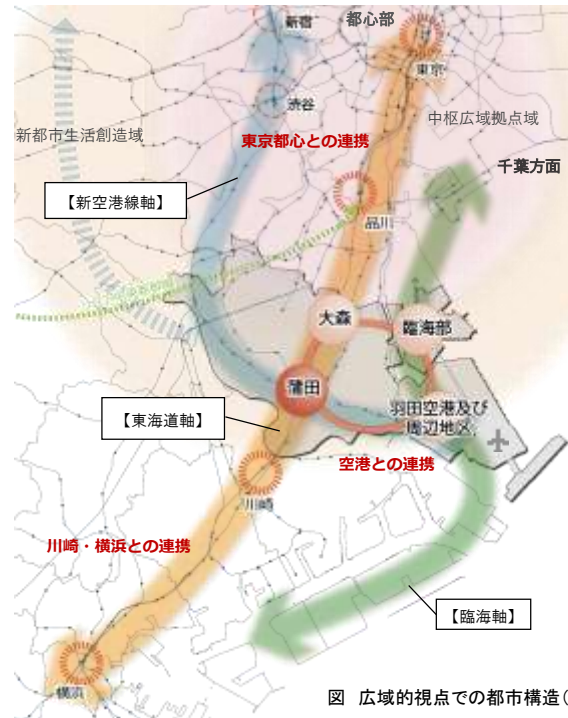


図 広域的視点での都市構造(案)

目指す姿 **多彩な「活動」の創出、「空間」の充実、「環境」の整備**

が相乗効果を生み出す

目指す姿 1

文化・交流・にぎわいを生み出す
多彩な「活動」が創出されるまち

個性や魅力ある店などによる商業活動や、ものづくり企業やグローバル企業による経済活動（産業）、暮らす人々による地域活動、観光客の受け入れを目指す活動などの多彩な「活動」により生まれた蒲田らしさが、人々を惹きつける魅力を高め、にぎわいがもたらされている。



※スケッチは仮の内容（現行GDより引用）

相乗効果

相乗効果

目指す姿 2

地域の価値を高める
「空間」が充実したまち

利便性の高い公共交通とそれを支える駅前空間や、駅前空間からまちへとスムーズにつながる歩行者空間、建物が生み出すゆとりある空間などの充実した都市「空間」が、人々を呼び込み回遊や滞留を促すことにより、地域全体の価値が高まっている。



※スケッチは仮の内容（現行GDより引用）

目指す姿 3

安心して快適に過ごせる
「環境」が整ったまち

災害に強い環境や、誰もが使いやすい環境、個性や魅力のある環境、自然を感じられる環境が、あらゆる人々に安心感・快適さ・安らぎを与えている。人々は豊かな「環境」が整った蒲田のまちに対して愛着や誇りを抱いている。



※スケッチは仮の内容（現行GDより引用）

相乗効果

- ・ 蒲田駅周辺地区の特徴や位置づけも踏まえて、「目指す姿」毎に、基本方針を設定する。
- ・ 各基本方針を実現するための目標（テーマ）を設定する。
- ・ 基本方針と目標（テーマ）毎に、改定において追加・強化すべき事項を整理する。

目指す姿

目指す姿 1

文化・交流・にぎわいを生み出す
多彩な「活動」が創出されるまち

目指す姿 2

地域の価値を高める
「空間」が充実したまち

目指す姿 3

安心して快適に過ごせる
「環境」が整ったまち

基本方針

基本方針 1

活動・交流・にぎわいの創出

商店街における商業活動の活性化に向けた取り組みはもとより、蒲田や大田区における産業の活性化に資する機能の導入、暮らしの場としての質的向上に向けた機能の整備、および蒲田らしい魅力の発掘・創出・発信などを進めていきます。
様々な理由で蒲田を利用する人々が、互いの文化を尊重し、出会い、交流する機会の創出を行います。

テーマ



商業

産業
ビジネス

暮らし

観光

基本方針 2

都市空間の充実

羽田空港との連携強化や、駅とまちのつながりの向上を考慮しながら、駅や駅前広場の整備による交通結節機能の強化を行います。
快適な歩行者空間の整備や、車両や施設の規制誘導による交通環境の確保や、老朽化した建物の更新やストックの有効活用などを進めていきます。

テーマ



駅
駅前広場

歩行者
空間

交通

建物

基本方針 3

安全・快適な環境の確保

災害対策の拠点として減災や災害発生時の早期復旧に向けた備えを強化するとともに、関係者が連携した防災活動により、まちの安全性を高めます。
また、誰もが分かりやすく・移動しやすい都市環境の整備や、美化活動・防犯活動、および緑化や省エネルギー化などを進めることにより、まちの快適性を高めます。

テーマ



防災

ユニバーサル
デザイン

美化
景観

自然
環境

防犯

<グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項>

- ・ 若い単身者や居住者などのニーズにも対応した商店街をつくり、その活力を持続的に向上
- ・ 羽田空港跡地第1ゾーン整備事業や新空港線整備と連携して、その効果を蒲田にも波及させ、蒲田の活力を向上
- ・ 事業所の減少や外国人の増加を踏まえて、市街地の機能更新にあわせ、国際的な産業・ビジネス機能や交流機能を強化
- ・ 外国人も安心して訪れ・暮らすことのできるまちづくり
- ・ 居住者の増加に対応するため、市街地の機能更新などに合わせ、生活支援機能を強化
- ・ 居住者の増加に対応して、駅周辺の公共施設の再編や活用を検討

など

<グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項>

- ・ 産官学民が連携したパブリックスペースを活用したイベント等により、地域のにぎわいや交流を活性化
- ・ 商業中心軸・呑川軸・東西自由通路・歩行者回遊軸などを対象として、サイン・舗装・植栽等の整備や無電柱化等を推進することにより、歩きたくなる街路空間を形成
- ・ 道路と沿道敷地が連携しながら、滞留空間や賑わい空間などを充実させることにより、まちなかの魅力を向上
- ・ 駅利用者の増加や新空港線整備にも対応した、駅・東西自由通路・駅前広場の整備
- ・ 周辺のまちへと誘導して活力向上にもつなげるような、東西自由通路・駅舎・駅ビル・駅前広場の整備
- ・ 駅前広場の有効活用による地域交流の促進
- ・ 新空港線とJR線・東急線・京急線の結節機能の強化
- ・ 歩行者の安全性や快適性向上のため、駐車場の隔地や集約化などを検討

など

<グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項>

- ・ 景観づくりに向けた体制や景観ルールづくりなどを進めて、魅力や個性のある商店街の景観整備推進
- ・ 増加する外国人（住む人・訪れる）にも対応した、誰もが利用しやすいまちとなるための取組み
- ・ まちづくり（再開発・共同化・建替え等）と連携した無電柱化の推進
- ・ 大規模災害時における帰宅困難者への対応

など

➤ 基本方針1では「活動」に関するテーマを扱うこととする。

現行グランドデザイン

基本方針	目標	アクションプラン	テーマ	
1 商業・にぎわい・交流の創出	1. いきいき元気な商業のまち	1-1 活気あふれる商店街づくり	①地域イベントの活性化	商業
			②商店街・地域イベントの情報発信	商業
			③活力が持続する商店街づくり	商業
		1-2 商店街の環境づくり	①商店街の景観づくり	美化・景観
			②環境にやさしい商店街づくり	自然・環境
			③清掃や見回り活動	美化・景観
	2. 人が行き交うにぎわいのあるまち	2-1 人でにぎわう回遊路づくり	①呑川軸の整備	歩行者空間
			②回遊路の整備	歩行者空間
			③サインの整備	UD
		2-2 快適な歩行者空間の整備	①安全安心道づくり(バリフリ化)	UD
			②蒲・蒲連絡路の整備	歩行者空間
			③主要施設誘導路の整備(移動円滑化整備)	UD
	3. 来街者を魅了し、何度も訪れたくなるまち	3-1 新たな観光施策の展開	①観光のまちづくり	観光
			②蒲田の魅力発信	観光
			③おもてなしのまちづくり	観光
3-2 人や文化の交流促進		①地域活動への呼びかけ・連携	暮らし	
		②観光サポーターや地域ガイドの育成・充実	観光	
		③外国人との交流の促進	暮らし	
3-3 空港利用者サービスの向上		①空港利用者向けサービス施設設置の検討	観光	
		②空港アクセス向上のための交通手段の検討(新空港線・空港直行バス)	交通	

割り振り整理後

基本方針	目標(扱うテーマ)	アクションプラン(扱うテーマ) ※具体的な内容は今後検討していく	出所	
1 活動・交流・にぎわいの創出	1. 【商業】 (現目標1が中心)	1-1 【商店街・商業】	①活力が持続する商店街づくり AP1-1③	
			②地域イベントの活性化 AP1-1①	
			③商店街・地域イベントの情報発信 AP1-1②	
	2. 【産業・ビジネス】 (新規目標)	2-1(新規AP) 【業務機能】	①(仮)大田区内の既存産業と連携した業務機能(ものづくりなど)の誘導 ②(仮)羽田空港と連携した国際的な業務機能(グローバル企業など)の誘導	追加強化G・N 意見1-ア・イ・エ・キ、2-ア
		2-2(新規AP) 【産業支援・ビジネス交流機能】	①(仮)育成機能や交流機能の強化(コワーキング・インキュベーション・カンファレンスなど) ②(仮)羽田空港跡地第一ゾーンとの連携(羽田の施設と蒲田・大田区の施設間の情報連携など)	
	3. 【暮らし】 (新規目標)	3-1(新規AP) 【生活利便機能】	①(仮)快適で便利な暮らしを支える機能の誘導	追加強化A・F・L・M、 意見1-キ・ク
		3-2(新規AP) 【地域コミュニティ】	①地域活動への呼びかけ・連携 AP3-2① ②外国人との交流の促進 AP3-2③	
	4. 【観光】 (現目標3が中心)	4-1 【観光施策】	①観光のまちづくり+地域の特徴を活かしたまちづくり AP3-1① AP7-2④	追加強化F・N 意見1-イ
			②観光の魅力発信+観光のまちづくり AP3-1①・②	
			③観光サポーターや地域ガイドの育成・充実 AP3-2②	
			④おもてなしのまちづくり AP3-1③	
			⑤空港利用者向けサービス施設設置の検討+(仮)羽田空港と連携した施設の充実(観光案内・空港利用者向けの宿泊機能など)	

改定において追加・強化すべき事項

- A 産官学民(商店街・観光協会・大学・住民など)が連携したパブリックスペースを活用したイベント等により、地域のにぎわいや交流を活性化【商業】【暮らし】
- B 若い単身者や居住者などのニーズにも対応した商店街をつくり、その活力を持続的に向上【商業】
- F 外国人も安心して訪れ・暮らすことのできるまちづくり【暮らし】【観光】
- G 羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(研究開発・滞在施設・会議場・イベントホール等)と連携して、その効果を蒲田にも波及させ、蒲田の活力を向上【産業・ビジネス】
- L 居住者の増加に対応するため、市街地の機能更新などに合わせ、生活支援機能を強化【暮らし】
- M 居住者の増加に対応して、駅周辺の公共施設の再編や活用を検討【暮らし】
- N 事業所の減少や外国人の増加を踏まえて、市街地の機能更新にあわせ、国際的な産業・ビジネス機能や交流機能を強化【産業・ビジネス】【観光】

第1回専門部会のご意見

- 1-ア 働く人や住む人たちに、蒲田駅周辺に留まってもらう視点が必要。【商業】【産業・ビジネス】
- 1-イ 蒲田で何をするのか、蒲田独自の施策を打ち出す必要がある。【商業】【産業・ビジネス】【観光】
- 1-エ 羽田空港跡地で行うビジネスマッチングの効果が蒲田などに及ばないと意味が無い。羽田空港跡地の動きが蒲田まで波及するような仕組みを考えなければいけない。【産業・ビジネス】
- 1-キ 生活拠点の機能と広域拠点の機能の両方を考える必要がある。【産業・ビジネス】【暮らし】
- 1-ク 住宅が増えていることに対する対応方策を考える必要がある。【暮らし】

第2回専門部会のご意見

- 2-ア 「国際的な産業・ビジネス機能」というと、大きいビルが建つようなイメージがあるが、実際はコワーキングとなると、中身が少し違うのではないかと。【産業・ビジネス】
- 2-イ 将来像で「多文化」と謳っているのに、文化的なことをもう少し反映した方が良い。【暮らし】【観光】

➤ 基本方針2では「空間」に関するテーマを扱うこととする。

現行グランドデザイン

基本方針	目標	アクションプラン	テーマ	
2 都市機能の向上	4. ゆとりを感じる機能性の高い駅前広場	4-1 中心拠点としての駅前広場の再整備	①安全安心な歩行者空間づくり	駅・駅前広場
			②交通結節機能の向上	駅・駅前広場
			③快適な駅前環境づくり(パトロール・美化活動など)	駅・駅前広場
		4-2 蒲田駅東西自由通路の整備	①既存東西連絡通路の改善	駅・駅前広場
			②東西自由通路の新設	駅・駅前広場
			③サインの整備	UD
	5. 利便性の高い蒲田駅と公共交通	5-1 蒲田駅の再整備	①蒲田駅再生整備の促進	駅・駅前広場
		5-2 空港アクセス機能の強化	①新たなアクセス交通網の拡充(新空港線) ②既存交通網の拡充(空港直行バス・路線バスの経路検討)	交通 駅・駅前広場
	6. 商・住の調和がとれたまち	6-1 建物の共同・協調化、建替への促進	①商業を中心に住居と融合した土地利用	建物
			②地区計画の導入(まちなみ誘導型地区計画などによる建物更新の促進)	建物
			③建物の建替への促進	建物
	7. 京急蒲田駅周辺のまちづくり	7-1 京急連続立体交差関連事業の整備	①京急連続立体交差事業の推進	【完了】
			②京急連続立体交差関連まちづくり事業の推進	【完了】
		7-2 京急蒲田駅周辺の新たな魅力づくり	①再開発、建物共同化等の推進	建物
②周辺施設の整備(大田区総合体育館と隣接する公園)			【完了】	
④地域の特徴を活かした魅力づくり			観光	

改定において追加・強化すべき事項

- A 産官学民(商店街・観光協会・大学・住民など)が連携したパブリックスペースを活用したイベント等により、地域のにぎわいや交流を活性化【**建物**】
- D 商業中心軸・呑川軸・東西自由通路・歩行者回遊軸などを対象として、サイン・舗装・植栽等の整備や無電柱化等を推進することにより、歩きたくなる街路空間を形成【**歩行者空間**】
- E 道路と沿道敷地が連携しながら、滞留空間や賑わい空間などを充実させることにより、まちなかの魅力を向上【**歩行者空間**】
- H 駅利用者の増加や新空港線整備にも対応した、駅・東西自由通路・駅前広場の整備【**駅・駅前広場**】
- I 周辺のまちへと誘導して活力向上にもつなげるような、東西自由通路・駅舎・駅ビル・駅前広場の整備【**駅・駅前広場**】
- J 駅前広場の有効活用による地域交流の促進【**駅・駅前広場**】
- K 新空港線とJR線・東急線・京急線の結節機能の強化【**駅・駅前広場**】
- M 居住者の増加に対応して、駅周辺の公共施設の再編や活用を検討【**建物**】
- O 歩行者の安全性や快適性向上のため、駐車場の隔地や集約化などを検討【**歩行者空間**】

第1回専門部会のご意見

- 1-ウ 地元の方々と話すと、まちの回遊性を重要なテーマとして挙げている。【**駅・駅前広場**】【**歩行者空間**】【**交通**】
- 1-オ 新空港線整備はまちづくりとセットと考えているので、駅前だけではなく、広がりを持ったまちづくりを考えていきたい。【**駅・駅前広場**】
- 1-カ 回遊性を高めるための取組みも考えた方がよい。【**駅・駅前広場**】【**歩行者空間**】【**交通**】
- 1-ケ 自動車や駐車場についても整理をするべき。【**歩行者空間**】

割り振り整理後

基本方針	目標(扱うテーマ)	アクションプラン(扱うテーマ)	※具体的な内容は今後検討していく	出所
2 都市空間の充実	5. 【 駅・駅前広場 】 (現目標4が中心)	5-1 【 蒲田駅・駅ビル 】	①蒲田駅再生整備の促進	AP5-1①
			②空港アクセス向上のための交通手段の検討(新空港線・空港直行バス)+新たなアクセス交通網の拡充(新空港線)	AP3-3②、5-2①
		5-2 【 東西自由通路 】	①既存東西連絡通路の改善	AP4-2①
			②東西自由通路の検討	AP4-2②
		5-3 【 駅前広場 】	①交通結節機能の向上+既存交通網の拡充(空港直行バス・路線バスの経路検討)	AP4-1②、5-2②
			②安全安心な歩行者空間づくり+快適な駅前環境づくり(パトロール・美化活動など)	AP4-1①③
	③(仮)まちの回遊性向上に資する駅前広場の整備		追加強化I 意見1-ウ・カ	
	5-4(新規AP) 【 新空港線の乗り換え・乗降空間 】	①(仮)JR線と新空港線の乗換え空間の整備	追加強化K 意見1-オ	
		②(仮)京急線と新空港線の乗換え空間の整備		
		③(仮)まちと新空港線をつなぐ動線確保		
	6. 【 歩行者空間 】 (現目標2が中心)	6-1 【 歩行者空間 】	①(仮)歩行者優先のまちづくり	意見2-エ・オ
			②呑川軸の整備(にぎわい・回遊路)+呑川軸の整備(水と緑)	AP2-1①、12-1①
			③回遊路の整備+蒲・蒲連絡路の整備+緑道、歩道等の再生整備(旧逆川道路やシンボル道路の整備)	AP2-1②、2-2②、12-1③
		6-2(新規AP) 【 車両誘導 】	①(仮)地域特性に応じた車両誘導(駐車場隔地、荷捌き施設などの検討)	追加強化O 意見1-ケ、2-カ
7. 【 交通 】 (現目標5が中心)	7-1 【 移動手段 】	①既存交通網の拡充(空港直行バス・路線バスの経路検討)	AP5-2②	
		②(仮)コミュニティサイクル ③(仮)回遊を促す新たなモビリティの検討	意見1-ウ・カ、2-エ	
8. 【 建物 】 (現目標6・7が中心)	7-2 【 自転車利用対策 】	①自転車駐車場の整備	AP8-1①	
		②自転車利用環境整備の推進	AP8-1③	
		①商業を中心に住居と融合した土地利用	AP6-1①	
	8-1 【 建物の更新 】	②(仮)公共空間の拡充(公開空地の設置誘導など)	追加強化A・E・L・M	
		③地区計画の導入(誘導型地区計画などによる建物更新の促進)	AP6-1②	
8-2(新規AP) 【 建物の活用 】	④建物の建替への促進+再開発、建物共同化等の推進	AP6-1③、7-2①		
		①(仮)建物のリノベーションやコンバージョンの促進	意見2-キ	

第2回専門部会のご意見

- 2-ウ 駅東西が分かれている事が課題だとすると、東と西を結び付ける話がかどこかにあっても良い。アクションプランに「蒲田駅東西自由通路の整備」としか書いていないが、ここにリンクするのではないかと。【**駅・駅前広場**】
- 2-エ 「歩いて楽しい」など歩行者の視点をもっと前面に出しても良い。その中に具体的な人と車が共存するまちづくりがあっても良いと思う。将来的にスモールモビリティ等様々な交通手段が増える事が考えられる。まず、歩いて楽しい、歩いて快適をベースにしながら、他の交通手段と共存出来る事を上手に表現できると良い。【**歩行者空間**】【**交通**】
- 2-オ 目標8は、例えば歩道を広げる等の歩行者関連のアクションプランがあった方がよい。また、「歩行者優先」を打ち出すかについては議論をしてはどうか。【**歩行者空間**】
- 2-カ 荷捌きがどうあるべきかを考える必要がある。駅周辺は人が移動するための車より、物を運ぶ車の方が問題を及ぼしている事も考えられる。移動手段と土地利用の関係性を謳った上で考える必要がある。【**歩行者空間**】
- 2-キ 建物の共同化・協調化、建替への促進は、建物の更新を促進していくようなストックを活用していく考え方があっても良い。【**建物**】

➤ 基本方針3では「環境」に関するテーマを扱うこととする。

現行グランドデザイン

基本方針	目標	アクションプラン	テーマ	
3 まちの快適性の確保	8. 歩行者と自転車が快適に共存できるまち	8-1 自転車利用対策の推進	①蒲田駅周辺自転車駐車場の整備	交通
			②京急蒲田駅周辺自転車駐車場の整備	【完了】
			③自転車利用環境整備の推進	交通
		8-2 放置自転車のないまちづくり	①放置自転車対策	防犯
			②自転車利用者への啓発	防犯
		9. 人にやさしいまち	9-1 ユニバーサルデザインの推進	①ユニバーサルデザイン基本方針に基づくまちづくりの推進
	②心のバリアフリーの推進			UD
	9-2 バリアフリー整備		①バリアフリー基本構想の推進	UD
			②民間建築物のバリアフリー化促進	UD
	10. 安全で暮らしやすいまち	10-1 災害に強いまちづくりの推進	①建築物の耐震化	防災
			②防災意識の向上	防災
		10-2 犯罪のないまちづくり	①治安維持のためのルールづくり	防犯
			②地域の力でつくる安全なまち	防犯
	11. 清潔で美しいまち	11-1 清潔なまちの維持	①美化活動の促進	美化・景観
			②清潔で好感度の高いまちづくり	美化・景観
		11-2 美しいまちなみの確保	①景観計画・ガイドライン等の策定	美化・景観
			②歴史的資源等の活用	美化・景観
	12. 水と緑のある潤いを感じるまち	12-1 水と緑の散策路づくり	①呑川軸の整備	歩行者空間
②呑川の水質改善			自然・環境	
③緑道、歩道等の再生整備(旧逆川道路やシンボル道路の整備)			歩行者空間	
12-2 緑のやすらぎ空間づくり		①魅力ある広場づくり	自然・環境	
		②魅力ある公園緑地づくり	自然・環境	

割り振り整理後

基本方針	目標(扱うテーマ)	アクションプラン(扱うテーマ) ※具体的な内容は今後検討していく	出所	
3 安全・快適な環境の確保	9. 【防災】 (現目標10の災害について強化)	9-1(新規AP) 【災害対策の拠点形成】	①(仮)災害対応における拠点としての役割	追加強化R 意見2-ク
			②(仮)都市機能の継続性の確保(交通・電力・通信など)	
			③防災意識の向上	AP10-1②
		9-2(新規AP) 【減災に向けた取り組み】	①建築物の耐震化	AP10-1①
			②(仮)無電柱化の推進	追加強化D・Q
			9-3(新規AP) 【災害発災時の備え】	①(仮)避難対応・帰宅困難者対応 など
	10. 【ユニバーサルデザイン】 (現目標9が中心)	10-1 【ユニバーサルデザイン】	①ユニバーサルデザイン基本方針に基づくまちづくりの推進	AP9-1①
			②心のバリアフリーの推進	AP9-1②
		10-2 【バリアフリー】	①主要施設誘導路の整備(移動円滑化整備)+バリアフリー基本構想の推進	AP2-2③、9-2①
			②安全安心道づくり(バリアフリー)	AP2-2①
			③民間建築物のバリアフリー化促進	AP9-2②
		10-3 【サイン】	①サインの整備+サインの整備(京急)	AP2-1③、7-2③
	11. 【美化・景観】 (現目標11が中心)	11-1 【清掃】	①清掃や見回り活動+美化活動の促進	AP1-2③、11-1①
②清潔で好感度の高いまちづくり			AP11-1②	
11-2 【景観】		①商店街の景観づくり+景観計画・ガイドライン等の策定	AP1-2①、11-2① 追加強化C	
12. 【自然・環境】 (現目標12が中心)	12-1 【呑川】	①呑川の水質改善	AP12-1②	
		②魅力ある広場づくり+魅力ある公園緑地づくり	AP12-2①②	
		③環境にやさしい商店街づくり	AP1-2②	
13. 【防犯】 (現目標10が中心)	13-1 【防犯】	①治安維持のためのルールづくり	AP10-2①	
		②地域の力でつくる安全なまち	AP10-2②	
		③放置自転車対策+自転車利用者への啓発	AP8-2①②	

改定において追加・強化すべき事項

- C 景観づくりに向けた体制や景観ルールづくりなどを進めて、魅力や個性のある商店街の景観整備推進【美化・景観】
- D 商業中心軸・呑川軸・東西自由通路・歩行者回遊軸などを対象として、サイン・舗装・植栽等の整備や無電柱化等を推進することにより、歩きたくなる街路空間を形成【防災】【UD】
- F 外国人も安心して訪れ・暮らすことのできるまちづくり【UD】
- P 増加する外国人(住む人・訪れる)にも対応した、誰もが利用しやすいまちとなるための取り組み【UD】
- Q まちづくり(再開発・共同化・建替え等)と連携した無電柱化の推進【防災】
- R 大規模災害時における帰宅困難者への対応【防災】

第1回専門部会のご意見

該当なし

第2回専門部会のご意見

- 2-ク 昨今の状況を考えると、耐震化や防災意識の向上の他に、避難のことなども考えた方がよい。【防災】
- 2-ケ 目標11.清潔という表現については、もう少し工夫があった方がよい。【美化・景観】
- 2-コ 暑さ対策などの環境的な対策を行うことで快適に過ごせる事を入れた方がよい【自然・環境】

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項	テーマ
A 産官学民(商店街・観光協会・大学・住民など)が連携したパブリックスペースを活用したイベント等により、地域のにぎわいや交流を活性化	商業 暮らし 建物
B 若い単身者や居住者などのニーズにも対応した商店街をつくり、その活力を持続的に向上	商業
C 景観づくりに向けた体制や景観ルールづくりなどを進めて、魅力や個性のある商店街の景観整備推進	美化・景観
D 商業中心軸・呑川軸・東西自由通路・歩行者回遊軸などを対象として、サイン・舗装・植栽等の整備や無電柱化等を推進することにより、歩きたくなる街路空間を形成	歩行者空間 防災 UD
E 道路と沿道敷地が連携しながら、滞留空間や賑わい空間などを充実させることにより、まちなかの魅力を向上	歩行者空間
F 外国人も安心して訪れ・暮らすことのできるまちづくり	暮らし 観光 UD
G 羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(研究開発・滞在施設・会議場・イベントホール等)と連携して、その効果を蒲田にも波及させ、蒲田の活力を向上	産業・ビジネス
H 駅利用者の増加や新空港線整備にも対応した、駅・東西自由通路・駅前広場の整備	駅・駅前広場
I 周辺のまちへと誘導して活力向上にもつなげるような、東西自由通路・駅舎・駅ビル・駅前広場の整備	駅・駅前広場
J 駅前広場の有効活用による地域交流の促進	駅・駅前広場
K 新空港線とJR線・東急線・京急線の結節機能の強化	駅・駅前広場
L 居住者の増加に対応するため、市街地の機能更新などに合わせ、生活支援機能を強化	暮らし 建物
M 居住者の増加に対応して、駅周辺の公共施設の再編や活用を検討	暮らし 建物
N 事業所の減少や外国人の増加を踏まえて、市街地の機能更新にあわせ、国際的な産業・ビジネス機能や交流機能を強化	産業・ビジネス 観光
O 歩行者の安全性や快適性向上のため、駐車場の隔地や集約化などを検討	歩行者空間
P 増加する外国人(住む人・訪れる)にも対応した、誰もが利用しやすいまちとなるための取組み	UD
Q まちづくり(再開発・共同化・建替え等)と連携した無電柱化の推進	防災
R 大規模災害時における帰宅困難者への対応	防災

UD=ユニバーサルデザイン

第1回専門部会でいただいたご意見	テーマ
1ーア 働く人や住む人たちに、蒲田駅周辺に留まってもらう視点が必要。	商業 産業・ビジネス 観光
1ーイ 蒲田で何をするのか、蒲田独自の施策を打ち出す必要がある。	商業 産業・ビジネス 観光
1ーウ 地元の方々と話すと、まちの回遊性を重要なテーマとして挙げている。	駅・駅前広場 歩行者空間 交通
1ーエ 羽田空港跡地で行うビジネスマッチングの効果が蒲田などに及ばないと意味が無い。羽田空港跡地の動きが蒲田まで波及するような仕組みを考えなければいけない。	産業・ビジネス
1ーオ 新空港線整備はまちづくりとセットと考えているので、駅前だけではなく、広がりを持ったまちづくりを考えていきたい。	駅・駅前広場
1ーカ 回遊性を高めるための取組みも考えた方が良い。	駅・駅前広場 歩行者空間 交通
1ーキ 生活拠点の機能と広域拠点の機能の両方を考える必要がある。	産業・ビジネス 暮らし
1ーク 住宅が増えていることに対する対応策を考える必要がある。	暮らし
1ーケ 自動車や駐車場についても整理をするべき。	歩行者空間

第2回専門部会でいただいたご意見	テーマ
2ーア 「国際的な産業・ビジネス機能」というと、大きいビルが建つようなイメージがあるが、実際はコワーキングとなると、中身が少し違うのではないかと。	産業・ビジネス
2ーイ 将来像で「多文化」と謳っているのに、文化的なことももう少し反映した方が良い。	暮らし 観光
2ーウ 駅東西が分かれている事が課題だとすると、東と西を結び付ける話がどこかにあっても良い。アクションプランに「蒲田駅東西自由通路の整備」としか書いていないが、ここにリンクするのではないかと。	駅・駅前広場
2ーエ 「歩いて楽しい」など歩行者の視点をもっと前面に出しても良い。その中に具体的な人と車が共存するまちづくりがあっても良いと思う。将来的にスモールモビリティ等様々な交通手段が増える事が考えられる。まず、歩いて楽しい、歩いて快適をベースにししながら、他の交通手段と共存出来る事を上手に表現できると良い。	歩行者空間 交通
2ーオ 目標8は、例えば歩道を広げる等の歩行者関連のアクションプランがあった方が良い。また、「歩行者優先」を打ち出すかについては議論をしてはどうか。	歩行者空間
2ーカ 荷捌きがどうあるべきかを考える必要がある。駅周辺は人が移動するための車より、物を運ぶ車の方が問題を及ぼしている事も考えられる。移動手段と土地利用の関係性を謳った上で考える必要がある。	歩行者空間
2ーキ 建物の共同化・協調化、建替えの促進は、建物の更新を促進していくようなストックを活用していく考え方があっても良い。	建物
2ーク 昨今の状況を考えると、耐震化や防災意識の向上の他に、避難のことも考えた方が良い。	防災
2ーケ 目標11.清潔という表現については、もう少し工夫があった方が良い。	美化・景観
2ーコ 暑さ対策などの環境的な対策を行うことで快適に過ごせる事を入れた方が良い。	自然・環境

現行グランドデザイン

目標1

いきいき元気な商業のまち

駅周辺は、商業を中心に発展してきましたが、社会構造や消費者ニーズの変化により商業形態が変わり、競争も激化しています。
 イベントの開催や商店街の環境整備などの取り組みを進め、歴史ある蒲田の「あきない」を再活性化させます。また、人をまちに呼び込むために、オフィスなどの業務系事業のための環境整備を図ります。商業で生まれる活力が将来に持続するまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
1-1 活気あふれる商店街づくり	
①地域イベントの活性化	商業
②商店街・地域イベントの情報発信	商業
③活力が持続する商店街づくり	商業
1-2 商店街の環境づくり	
①商店街の景観づくり	美化・景観
②環境にやさしい商店街づくり	自然・環境
②清掃や見回り活動	美化・景観

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加



【STEP3】テーマ別整理

「商業」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「商店街・商業」について扱う	
①活力が持続する商店街づくり	AP1-1③
②地域イベントの活性化	AP1-1①
③商店街・地域イベントの情報発信	AP1-1②

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定



これまでの経過
を踏まえた対応

B、1-ア(強化)

A(強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標1

いきいき元気な商業のまち

駅周辺は、商業を中心に発展してきましたが、居住者の増加や消費者ニーズの多様化など商業を取巻く環境が変化しており、競争も激化しています。
 商店街の環境整備など多様な人々のニーズに応じた商業の集積を促進するとともに、蒲田らしい食文化などと連携したイベントの開催や情報発信に取り組み多様な人々を呼び込むことで、居住者や来街者でにぎわうまちを創出します。商業で生まれる活力が将来に持続する商業のまちを目指します。

アクションプラン
1-1 活気あふれる商店街づくり
①活力が持続する商店街づくり
②地域イベントの活性化
③商店街・地域イベントの情報発信

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

A	産官学民（商店街・観光協会・大学・住民など）が連携したパブリックスペースを活用したイベント等により、地域のにぎわいや交流を活性化
B	若い単身者や居住者などのニーズにも対応した商店街をつくり、その活力を持続的に向上

第1回専門部会でいただいたご意見

1-ア	働く人や住む人たちに、蒲田駅周辺に留まってもらう視点が必要。
1-イ	蒲田で何をするのか、蒲田独自の施策を打ち出す必要がある。

現行グランドデザイン

なし

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見を
踏まえた
項目の追加



【STEP3】テーマ別整理

「産業・ビジネス」
を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「業務機能」について扱う	追加強化G 追加強化N 意見1-ア 意見1-イ 意見1-エ 意見1-キ 意見2-ア
AP2:「産業支援・ビジネス交流機能」について扱う	

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定



これまでの経過
を踏まえた対応

【STEP4】目標の見直し(案)

目標2
産業やビジネスが育つまち

新空港線や空港跡地の整備により新たな広域連携軸が形成されるなか、羽田空港の玄関口となり、東城南地区の産業・経済の活性化をけん引する広域中心拠点としての役割が期待されています。
羽田空港との近接性や交通結節性を活かし、業務機能、産業支援機能やビジネス交流機能等の誘導を図るとともに、羽田空港等との連携を強化することにより、価値あるイノベーションを発信する産業のまちを目指します。

アクションプラン
2-1 業務機能の充実
①(仮)大田区内の既存産業と連携した業務機能(ものづくりなど)の誘導
②(仮)羽田空港と連携した国際的な業務機能(グローバル企業など)の誘導
2-2 産業支援機能やビジネス交流機能の充実
①(仮)育成機能や交流機能の強化(コワーキング・インキュベーション・カンファレンスなど)
②(仮)羽田空港跡地第一ゾーンとの連携(羽田の施設と蒲田・大田区の施設間の情報連携など)

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

G	羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（研究開発・滞在施設・会議場・イベントホール等）と連携して、その効果を蒲田にも波及させ、蒲田の活力を向上
N	事業所の減少や外国人の増加を踏まえて、市街地の機能更新にあわせ、国際的な産業・ビジネス機能や交流機能を強化

第1回専門部会でいただいたご意見

1-ア	働く人や住む人たちに、蒲田駅周辺に留まってもらふ視点が必要。
1-イ	蒲田で何をするのか、蒲田独自の施策を打ち出す必要がある。
1-エ	羽田空港跡地で行うビジネスマッチングの効果が蒲田などに及ばないと意味が無い。羽田空港跡地の動きが蒲田まで波及するような仕組みを考えなければいけない。
1-キ	生活拠点の機能と広域拠点の機能の両方を考える必要がある。

第2回専門部会でいただいたご意見

2-ア	「国際的な産業・ビジネス機能」というと、大きいビルが建つようなイメージがあるが、実際はコワーキングとなると、中身が少し違うのではないかと。参考：第2回専門部会時 目標「産業やビジネスが活性化するまち」アクションプラン「7-1 駅前エリアにおける都市機能集積」「7-2 国際的な産業・ビジネス機能の充実」「7-3 滞在機能や交流機能の充実」
-----	---

現行グランドデザイン

目標3

来街者を魅了し、何度も訪れたいまち

羽田空港の再拡張・国際化による利用者増が見込まれ、蒲田に立ち寄る人の増加も期待されます。また、蒲田特有の風土や文化も育まれてきましたが、外国人の居住者の増加により、それらの変化も生まれています。

空港利用者や周辺地域の人を呼び込むために、蒲田の情報発信や観光資源の発掘など地域ぐるみで観光のまちづくりを推進します。国内外の来街者や居住者が居心地良く過ごし、地元の人との交流を育む、親しみやすいまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
3-1 新たな観光施策の展開	
①観光のまちづくり	観光
②蒲田の魅力発信	観光
③おもてなしのまちづくり	観光
3-2 人や文化の交流促進	
①地域活動への呼びかけ・連携	暮らし
②観光サポーターや地域ガイドの育成・充実	観光
③外国人との交流の促進	暮らし
3-3 空港利用者サービスの向上	
①空港利用者向けサービス施設設置の検討	観光
②空港アクセス向上のための交通手段の検討	駅・駅前広場

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加

【STEP3】テーマ別整理

「暮らし」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「生活利便機能」について扱う	追加強化A・F・L・M 意見1-キ 意見1-ク
AP2:「地域コミュニティ」について扱う	
①地域活動への呼びかけ・連携	AP3-2①
②外国人との交流の促進	AP3-2③

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定

これまでの経過
を踏まえた対応

A、F、L、M
1-キ、ク(追加強化)

F(強化)
2-イ(強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標3

多様な人が快適に暮らせるまち

蒲田は、マンション等の建設、及び羽田空港の国際化などに伴い、居住者・学生・外国人などが増えています。多文化都市として、誰もが安心して暮らせる居住環境を整えることが求められています。

生活支援施設の充実を図ることにより、誰もが生活に必要なサービスを受けられ、それぞれのライフスタイルを実現できるまちを目指します。また、地域に暮らす多様な人々の交流により、親しみやすいまちを目指します。

アクションプラン
3-1 生活利便機能の充実
①(仮)快適で便利な暮らしを支える機能の誘導
3-2 地域コミュニティの活性化
①地域活動への呼びかけ・連携
②外国人との交流の促進

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

A	産官学民（商店街・観光協会・大学・住民など）が連携したパブリックスペースを活用したイベント等により、地域のにぎわいや交流を活性化
F	外国人も安心して訪れ・暮らすことのできるまちづくり
L	居住者の増加に対応するため、市街地の機能更新などに合わせ、生活支援機能を強化
M	居住者の増加に対応して、駅周辺の公共施設の再編や活用を検討

第1回専門部会でいただいたご意見

1-キ	生活拠点的功能と広域拠点的功能の両方を考える必要がある。
1-ク	住宅が増えていることに対する対応方策を考える必要がある。

第2回専門部会でいただいたご意見

2-イ	将来像で「多文化」と謳っているのに、文化的なことももう少し反映した方が良い。
-----	--

現行グランドデザイン

目標3

来街者を魅了し、何度も訪れたいまち

羽田空港の再拡張・国際化による利用者増が見込まれ、蒲田に立ち寄る人の増加も期待されます。また、蒲田特有の風土や文化も育まれてきましたが、外国人の居住者の増加により、それらの変化も生まれています。

空港利用者や周辺地域の人を呼び込むために、蒲田の情報発信や観光資源の発掘など地域ぐるみで観光のまちづくりを推進します。国内外の来街者や居住者が居心地良く過ごし、地元の人との交流を育む、親しみやすいまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
3-1 新たな観光施策の展開	
①観光のまちづくり	観光
②蒲田の魅力発信	観光
③おもてなしのまちづくり	観光
3-2 人や文化の交流促進	
①地域活動への呼びかけ・連携	暮らし
②観光サポーターや地域ガイドの育成・充実	観光
③外国人との交流の促進	暮らし
3-3 空港利用者サービスの向上	
①空港利用者向けサービス施設設置の検討	観光
②空港アクセス向上のための交通手段の検討	駅・駅前広場

目標7

京急蒲田駅周辺のまちづくり

アクションプラン	テーマ
7-2 京急蒲田駅周辺の新たな魅力づくり	
①再開発、建物共同化等の推進	建物
②周辺施設の整備【完了】	—
③サインの整備	UD
④地域の特徴を活かした魅力づくり	観光

UD=ユニバーサルデザイン

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加

【STEP3】テーマ別整理

「観光」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「様々な観光施策」について扱う	
①観光のまちづくり+地域の特徴を活かした魅力づくり	AP3-1①&AP7-2④
②蒲田のまちづくり+観光の魅力発信	AP3-1①・②
③観光サポーターや地域ガイドの育成・充実	AP3-2②
④おもてなしのまちづくり	AP3-1③
⑤空港利用者向けサービス施設設置の検討+(仮)羽田空港と連携した施設に関する項目	AP3-3① 追加強化F・N 意見1-イ

2-イ(対応)

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定

これまでの経過
を踏まえた対応

F(強化)と3-1①・②の
役割明確化

N、F
1-イ(追加強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標4

国内外と繋がり、何度も訪れたいまち

羽田空港の機能強化や新空港線整備などに伴い、蒲田を訪れる人の増加が期待されます。また、蒲田特有の文化に、若者や海外の文化が加わるなど、多様化が進んでいます。

空港利用者や周辺地域の人を呼び込むために、蒲田らしい観光資源の発掘や情報発信などを進めます。また、多言語化や宿泊機能の充実などを図ることにより、国内外の来街者と住民が居心地が良く、多文化の交流を育むまちを目指します。

アクションプラン
4-1 様々な観光施策の展開
①(仮)観光資源の発掘・創造
②(仮)観光資源の情報発信(情報サイト・マップ・イベントなど)
③(仮)観光に携わる人材の育成(観光サポーター・地域ガイドなど)
④(仮)多言語化への対応(案内板・商店向け会話集など)
⑤(仮)羽田空港と連携した施設の充実(観光案内・空港利用者向けの宿泊機能など)

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

F	外国人も安心して訪れ・暮らすことのできるまちづくり
N	事業所の減少や外国人の増加を踏まえて、市街地の機能更新にあわせ、国際的な産業・ビジネス機能や交流機能を強化

第1回専門部会でいただいたご意見

1-イ	蒲田で何をするのか、蒲田独自の施策を打ち出す必要がある。
-----	------------------------------

第2回専門部会でいただいたご意見

2-イ	将来像で「多文化」と謳っているので、文化的なことももう少し反映した方が良い。
-----	--

現行グランドデザイン

目標4

ゆとりを感じる機能性の高い駅前広場

蒲田駅前広場は、鉄道を利用する歩行者の増加やバス、タクシー、搬入車の乗り入れなどで混雑し、交通結節機能が不十分です。
乗換え利便性の高い自由通路の設置やバス、タクシー乗降場の整備、不足面積確保などの検討・整備を進め、整然とした中に快適性と高い機能を持った駅前広場を目指します。

アクションプラン	テーマ
4-1 中心拠点としての駅前広場の再整備	
①安全安心な歩行者空間づくり	駅・駅前広場
②交通結節機能の向上	駅・駅前広場
③快適な駅前環境づくり	駅・駅前広場
4-2 蒲田駅東西自由通路の整備	
①既存東西連絡通路の改善	駅・駅前広場
②東西自由通路の新設	駅・駅前広場

目標3

来街者を魅了し、何度も訪れたくなるまち

アクションプラン	テーマ
3-3 空港利用者サービスの向上	
①空港利用者向けサービス施設設置の検討	観光
②空港アクセス向上のための交通手段の検討	駅・駅前広場

目標5

利便性の高い蒲田駅と公共交通

蒲田駅は、駅ビルを含め様々な機能が詰め込まれ、鉄道利用者と駅東西を行き来する人であふれています。また、蒲田駅と京急蒲田駅が離れており、蒲田駅からの空港アクセスが不十分です。

駅・駅ビルの将来の建替えに向けて、関係者・関係機関が、東西自由通路の課題も含めた整備構想の検討を進め、鉄道利用者や通行者が快適に利用できる駅施設を目指します。また、公共交通利用促進による環境にやさしいまちづくりの視点も踏まえながら、空港アクセス向上等のための新たなアクセス交通網の実現に向けた取り組みを進めます。

アクションプラン	テーマ
5-1 蒲田駅の再整備	
①蒲田駅再生整備の促進	駅・駅前広場
5-2 空港アクセス機能の強化	
①新たなアクセス交通網の拡充(新空港線)	駅・駅前広場
②既存交通網の拡充(空港直行バス・路線バスの経路検討)	交通

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加



【STEP3】テーマ別整理

「駅・駅前広場」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「蒲田駅・駅ビル」について扱う	
①蒲田駅再生整備の促進	AP5-1①
②新たなアクセス交通網の拡充+空港アクセス向上のための交通手段の検討	AP3-3②&AP5-2①
AP2:「東西自由通路」について扱う	
①既存東西連絡通路の改善	AP4-2①
②東西自由通路の新設	AP4-2②
AP3:「駅前広場」について扱う	
①交通結節機能の向上+既存交通網の拡充	AP4-1②&5-2②
②安心安全な歩行者空間づくり+快適な駅前環境づくり	AP4-1①③
③(仮)まちの回遊性向上に資する駅前広場の整備に関する項目	追加強化I意見1-ウ・カ
④(仮)駅前広場の活用に関する項目	追加強化H・J
AP4:「新空港線の乗換え空間」について扱う	
	追加強化K意見1-オ

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定



これまでの経過
を踏まえた対応

2-ウ(強化)

H、2-ウ(強化)

I、1-ウ、カ(追加強化)

H、J(追加強化)

K、1-オ(追加強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標5

ゆとりを感じる利便性の高い駅と基盤施設

JR・東急蒲田駅を中心とした駅前空間を構成する基盤施設は、駅舎・駅ビルの老朽化、東西連絡通路や駅前広場の機能不足など様々な課題を抱えており、交通結節機能が不十分です。
新空港線の整備を最大の契機と捉え、駅舎、駅ビル、東西自由通路や駅前広場などの基盤施設を一体的に捉えた整備を進め、ゆとりある歩行者空間を有し、公共交通の利用がしやすい利便性の高い駅と基盤施設の機能更新を目指します。

アクションプラン
5-1 蒲田駅の再整備
①蒲田駅再生整備の促進
②新空港線の整備との連携
5-2 蒲田駅東西自由通路の整備
①既存東西連絡通路の改善
②東西自由通路の検討
5-3 駅前広場の整備と活用
①交通結節機能の向上
②快適な駅前環境づくり
③(仮)まちの回遊性向上に資する駅前広場の整備
④(仮)駅前広場の活用
5-4 新空港線への乗り換え・乗降の利便性の確保
①(仮)JR線と新空港線の乗換え空間の整備
②(仮)京急線と新空港線の乗換え空間の整備
③(仮)まちと新空港線をつなぐ動線確保 など

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

H	駅利用者の増加や新空港線整備にも対応した、駅・東西自由通路・駅前広場の整備
I	周辺のまちへと誘導して活力向上にもつなげるような、東西自由通路・駅舎・駅ビル・駅前広場の整備
J	駅前広場の有効活用による地域交流の促進
K	新空港線とJR線・東急線・京急線の結節機能の強化

第1回専門部会でいただいたご意見

1-ウ	地元の方々と話すと、まちの回遊性を重要なテーマとして挙げている。
1-オ	新空港線整備はまちづくりとセットと考えているので、駅前だけではなく、広がりを持ったまちづくりを考えていきたい。
1-カ	回遊性を高めるための取組みも考えた方がよい。

第2回専門部会でいただいたご意見

2-ウ	駅東西が分かれている事が課題だとすると、東と西を結び付ける話がどこかにあってもよい。アクションプランに「蒲田駅東西自由通路の整備」としか書いていないが、ここにリンクするのではないかと。
-----	--

現行グランドデザイン

目標2

人が行き交うにぎわいのあるまち

JR京浜東北線により蒲田東西エリアは分断され、密集した建物などにより歩行者空間に余裕がなく、回遊性や快適性が不足しています。
緑道や散策路の整備、東西の自由通路の設置などにより、新たな回遊路を生み出します。また、サインや歩行者空間の整備も行い、回遊路の魅力を高め、居住者・来街者が楽しく散策できるような回遊性のあるまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
2-1 人でのぎわう回遊路づくり	
①呑川軸の整備	歩行者空間
②回遊路の整備	歩行者空間
③サインの整備	UD
2-2 快適な歩行者空間の整備	
①安全安心道づくり(バリアフリー化)	UD
②蒲・蒲連絡路の整備	歩行者空間
③主要施設誘導路の整備(移動円滑化)	UD

UD=ユニバーサルデザイン

目標12

水と緑のある潤いを感じるまち

商業エリアである蒲田のまちは、区内のほかの地域と比べ、緑が不足しています。親水空間として考えられる呑川は、自転車駐車場として使用されている箇所や水質の問題があり、十分な活用ができていません。季節の変化や自然の潤いを感じることでできる空間・環境が求められています。

水と緑を楽しみながら散策できる親水エリアを整備します。また、地域と連携して公園や沿道の緑化を推進しながら潤いのあるまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
12-1 水と緑の散策路づくり	
①呑川軸の整備	歩行者空間
②呑川の水質改善	自然・環境
③緑道、歩道等の再生整備	歩行者空間
12-2 緑のやすらぎ空間づくり	
①魅力ある広場づくり	自然・環境
②魅力ある公園緑地づくり	自然・環境

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加



【STEP3】テーマ別整理

「歩行者空間」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「歩行者空間」について扱う	
①歩行者優先に関する項目	意見2-エ・オ
②呑川軸の整備	AP2-1①&AP12-1①
③回遊路の整備+蒲・蒲連絡路の整備+ 緑道、歩道等の再生整備	AP2-1②&AP2-2② &AP12-1③
AP2:「車両誘導」について扱う	
	追加強化0 意見1-ケ 意見2-カ

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定



これまでの経過
を踏まえた対応

2-エ・オ(追加強化)

D・E、
1-ウ・カ(強化)

0
1-ケ(追加強化)
2-カ(追加強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標6

歩いてめぐり楽しめるまち

蒲田には魅力的な店や場所が各所にありますが、幅の狭い道路や通路、人の往来を阻害する車両の存在などにより、魅力的なスポットを巡り楽しむための回遊性や快適性に課題があります。
呑川沿いや商店街など道路では、回遊性に配慮した歩行者空間を整備していくとともに、歩行者に配慮した車両の誘導を図るなどにより、思わず歩きたくなり楽しめる歩行者優先のまちを目指します。

アクションプラン
6-1 歩きたくなる歩行者空間のまちづくり
①(仮)歩行者優先のまちづくり
②呑川軸の整備
③にぎわい・回遊軸の整備
6-2 歩行者に配慮した車両の誘導
①(仮)地域特性に応じた車両誘導(駐車場隔地、荷捌き集約化等の検討)

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

D	商業中心軸・呑川軸・東西自由通路・歩行者回遊軸などを対象として、サイン・舗装・植栽等の整備や無電柱化等を推進することにより、歩きたくなる街路空間を形成
E	道路と沿道敷地が連携しながら、滞留空間や賑わい空間などを充実させることにより、まちなかの魅力を向上
O	歩行者の安全性や快適性向上のため、駐車場の隔地や集約化などを検討

第1回専門部会でいただいたご意見

1-ウ	地元の方々と話すと、まちの回遊性を重要なテーマとして挙げている。
1-カ	回遊性を高めるための取組みも考えた方がよい。
1-ケ	自動車や駐車場についても整理をすべき。

第2回専門部会でいただいたご意見

2-エ	「歩いて楽しい」など歩行者の視点をもっと前面に出しても良い。その中に具体的な人と車が共存するまちづくりがあって良いと思う。将来的にスモールモビリティ等様々な交通手段が増える事が考えられる。まず、歩いて楽しい、歩いて快適をベースにしながら、他の交通手段と共存出来る事を上手に表現できると良い。
2-オ	目標8は、例えば歩道を広げる等の歩行者関連のアクションプランがあった方がよい。また、「歩行者優先」を打ち出すかについては議論をしてはどうか。
2-カ	荷捌きがどうあるべきかを考える必要がある。駅周辺は人が移動するための車より、物を運ぶ車の方が問題を及ぼしている事も考えられる。移動手段と土地利用の関係性を謳った上で考える必要がある。

現行グランドデザイン

目標8

人が行き交うにぎわいのあるまち

自転車の利用増に伴い、放置自転車も増えてきました。環境に優しい自転車ですが、車道・歩道などに放置されている自転車は、歩行者や緊急車両などの通行の妨げになっています。既存自転車駐車場の再整備を行いながら、新たな自転車駐車場の検討などで収容台数を拡充します。また、自転車利用のルールづくりやマナー啓発をさらに図ることで、自転車がみんなの迷惑にならず、自転車利用のしやすいまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
8-1 自転車利用対策の推進	
①蒲田駅周辺自転車駐車場の整備	交通
②京急蒲田駅周辺自転車駐車場の整備【完了】	—
③自転車利用環境整備の推進	交通
8-2 放置自転車のないまちづくり	
①放置自転車対策	防犯
②自転車利用者への啓発	防犯

目標5

利便性の高い蒲田駅と公共交通

蒲田駅は、駅ビルを含め様々な機能が詰め込まれ、鉄道利用者と駅東西を行き来する人であふれています。また、蒲田駅と京急蒲田駅が離れており、蒲田駅からの空港アクセスが不十分です。駅・駅ビルの将来の建替えに向けて、関係者・関係機関が、東西自由通路の課題も含めた整備構想の検討を進め、鉄道利用者や通行者が快適に利用できる駅施設を目指します。また、公共交通利用促進による環境にやさしいまちづくりの視点も踏まえながら、空港アクセス向上等のための新たなアクセス交通網の実現に向けた取り組みを進めます。

アクションプラン	テーマ
5-1 蒲田駅の再整備	
①蒲田駅再生整備の促進	駅・駅前広場
5-2 空港アクセス機能の強化	
①新たなアクセス交通網の拡充(新空港線)	駅・駅前広場
②既存交通網の拡充(空港直行バス・路線バスの経路検討)	交通

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加

【STEP3】テーマ別整理

「交通」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「移動手段」について扱う	
①既存交通網の拡充	AP5-2②
②(仮)コミュニティサイクルに関する項目	意見1ーウ・カ 意見2ーエ
③(仮)回遊を促す新たなモビリティの検討に関する項目	意見1ーウ・カ 意見2ーエ
AP2:「自転車利用対策」について扱う	
①蒲田駅周辺自転車駐車場の整備	AP8-1①
②自転車利用環境整備の推進	AP8-1③

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定

これまでの経過
を踏まえた対応

1ーウ・カ
2ーエ(追加強化)

1ーウ・カ
2ーエ(追加強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標7

様々な手段で快適に移動できるまち

商店街などでは、回遊性の向上によるにぎわいの創出が求められています。また、駅前や商店街などでは、歩道を自転車が走行するなど、快適な移動に課題があります。歩行・自転車・次世代型の新たなモビリティなどの多様な移動手段の有効活用と、自転車駐車場や自転車利用環境の計画的な整備などにより、人々が快適に移動できるまちを目指します。

アクションプラン
7-1 多様な移動手段の活用
①既存交通網の充実(空港直行バス・路線バスの経路検討)
②(仮)コミュニティサイクル
③(仮)回遊を促す新たなモビリティの検討
7-2 自転車利用対策の推進
①自転車駐車場の整備
②自転車利用環境整備の推進

これまでの経過

第1回専門部会でいただいたご意見

1ーウ	地元の方々と話すと、まちの回遊性を重要なテーマとして挙げている。
1ーカ	回遊性を高めるための取組みも考えた方が良い。

第2回専門部会でいただいたご意見

2ーエ	「歩いて楽しい」など歩行者の視点をもっと前面に出しても良い。その中に具体的な人と車が共存するまちづくりがあって良いと思う。将来的にスモールモビリティ等様々な交通手段が増える事が考えられる。まず、歩いて楽しい、歩いて快適をベースにしながら、他の交通手段と共存出来る事を上手に表現できると良い。
-----	---

現行グランドデザイン

目標6

商・住の調和がとれたまち

蒲田駅を中心としてまちを形成してきましたが、老朽化により更新時期を迎えた建物が増えてきています。また、マンションなどの共同住宅の開発により、商店の連続性が欠如するなど、商業系の土地利用が減少する状況も見受けられます。建物の共同・協調化のほか、多様な手法やシステムの導入による建替えの促進を図ります。また、地区計画等により、低層階には商業、中高層階には事務所や住宅等の利用を進め、連続性を保った商業空間と住宅が調和したまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
6-1 建物の共同・協調化、建替えの促進	
①商業を中心に住居と融合した土地利用	建物
②地区計画の導入	建物
③建物の建替えの促進	建物

目標7

京急蒲田駅周辺のまちづくり

第一京浜・環状8号線の立体交差事業も進められ、京急連続立体交差事業に合わせて街路整備や街区の再開発が進められています。また、京急蒲田駅を中心にまちの様相は大きく変わろうとしています。今後もこれらの事業を推進し、まちの機能・環境の向上を目指します。京急蒲田西口地区では、住みやすいまちや商業の活性化などのまちづくりの目標を定めて、行政とも協働しながら実現に向けて活動しています。目標に基づいた課題の整理と取り組みにより、まちの新たな魅力づくりを進めます。

アクションプラン	テーマ
7-1 京急連続立体交差関連事業の整備	
①京急連続立体交差事業の推進【完了】	—
②京急連続立体交差関連まちづくり事業の推進【完了】	—
7-2 京急蒲田駅周辺の新たな魅力づくり	
①再開発、建物共同化等の推進	建物
②周辺施設の整備【完了】	—
③サインの整備	UD
④地域の特徴を活かした魅力づくり	観光

UD=ユニバーサルデザイン

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加



【STEP3】テーマ別整理

「建物」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「建物の更新」について扱う	
①商業を中心に住居と融合した土地利用	AP6-1①
②(仮)公共空間に関する項目	追加強化A・E・L・M
③地区計画の導入	AP6-1②
④建物の建替えの促進+再開発、建物共同化等の推進	AP6-1③&AP7-2①
AP2:「建物の活用」について扱う	意見2-キ

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定



これまでの経過
を踏まえた対応

A、E、L、M
(追加強化)

2-キ(追加強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標8

建物の更新や活用が進むまち

蒲田駅周辺地区では、老朽化により更新時期を迎えた建物が増えてきています。また、マンションなどの共同住宅の開発により、商店の連続性が欠如するなどの状況も見受けられており、まちの魅力や活力の持続的向上が必要です。建物の共同化・協調化のほか多様な手法による建替えの促進と、リノベーションなどによる既存ストックの有効活用の促進を図ります。低層部には店舗が連続し、中高層階には住宅や業務などの用途がバランス良く導入されたまちを目指します。

アクションプラン
8-1 建物の共同化・協調化・建替えの促進
①商業を中心に住居と融合した土地利用
②公共空間の拡充(公開空地の設置誘導など)
③地区計画の導入
④建物の建替えの促進
8-2 建物ストックの有効活用
①(仮)建物のリノベーションやコンバージョンの促進

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

A	産官学民(商店街・観光協会・大学・住民など)が連携したパブリックスペースを活用したイベント等により、地域のにぎわいや交流を活性化
E	道路と沿道敷地が連携しながら、滞留空間や賑わい空間などを充実させることにより、まちなかの魅力を向上
L	居住者の増加に対応するため、市街地の機能更新などに合わせ、生活支援機能を強化
M	居住者の増加に対応して、駅周辺の公共施設の再編や活用を検討

第2回専門部会でいただいたご意見

2-キ	建物の共同化・協調化、建替えの促進は、物の更新を促進していくようなストックを活用していく考え方があってほしい。
-----	---

現行グランドデザイン

目標10

安全で暮らしやすいまち

耐震性の低い建築物(旧耐震)が数多くあり、大規模地震の際の道路等への倒壊など大きな不安があります。また、犯罪発生を抑制するまちの環境づくりも必要です。すべての人が安心して歩け、まちを楽しんでいただくためには、まちの治安と安全確保が求められます。

建築物の建替えや耐震改修の促進、地域住民の防災意識の向上を図ります。また、地域住民・行政による防犯活動なども行いながら、まちで過ごす人々が安全で安心できる歩行者・居住空間などの都市環境の確保を目指します。

アクションプラン	テーマ
10-1 災害に強いまちづくりの推進	
①建築物の耐震化	防災
②防災意識の向上	防災
10-2 犯罪のないまちづくり	
①治安維持のためのルールづくり	防犯
②地域力でつくる安全なまち	防犯

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加



【STEP3】テーマ別整理

「防災」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「災害対策の拠点形成」について扱う	
①(仮)災害時の拠点としての役割に関する項目	追加強化R 意見2ーク
②(仮)都市機能の持続性確保に関する項目	
③防災意識の向上	AP10-1②
AP2:「減災」について扱う	
①建築物の耐震化	AP10-1①
②(仮)無電柱化の推進に関する項目	追加強化D・Q
AP3:「災害発生における備え」について扱う	
①(仮)災害時における避難対応などに関する項目	追加強化R 意見2ーク

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定



これまでの経過
を踏まえた対応

R・2ーク(追加強化)

R・2ーク(追加強化)

D・Q(追加強化)

R・2ーク(追加強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標9

災害に強いまち

蒲田は区役所を有し、災害時の対策本部としての役割を担います。また、住民・就業者・学生などが集中するエリアであるため、住民の避難対応と帰宅困難者対応が同時に求められます。

大規模災害時においても、機能継続や早期復旧が可能となるまちを目指して、建築物の耐震化や無電柱化などによる減災対策を進めるとともに、避難対応と帰宅困難者対応を円滑に進めるための体制構築により安心安全なまちを目指します。

アクションプラン
9-1 災害対策の拠点形成
①(仮)災害時対応における拠点としての役割
②(仮)都市機能の継続性の確保(交通・電力・通信など)
③(仮)官民が連携した防災体制の構築
9-2 減災に向けた取り組み
①建築物の耐震化
②(仮)無電柱化の推進
9-3 災害発生時における備え
①(仮)避難対応・帰宅困難者対応など

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

Q	まちづくり(再開発・共同化・建替え等)と連携した無電柱化の推進
R	大規模災害時における帰宅困難者への対応

第2回専門部会でいただいたご意見

2-ク	昨今の状況を考えると、耐震化や防災意識の向上の他に、避難のことなども考えた方が良い。
-----	--

現行グランドデザイン

目標9 人にやさしいまち	
道路の段差解消や公共施設などのバリアフリー整備を中心に進めてきましたが、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの社会が求められています。 引き続きバリアフリー整備を進め、さらに、「どこでも、誰でも、自由に、使いやすい」を基本に、サービスやサインなどの情報提供なども含めた取り組みで人にやさしいまちを目指します	
アクションプラン	テーマ
9-1 ユニバーサルデザインの推進	
①ユニバーサルデザイン基本方針に基づくまちづくりの推進	UD
②心のバリアフリーの推進	UD
9-2 バリアフリー整備	
①バリアフリー基本構想の推進	UD
②民間建築物のバリアフリー化促進	UD
UD=ユニバーサルデザイン	

目標2 人が行き交うにぎわいのあるまち	
アクションプラン	テーマ
2-1 人でにぎわう回遊路づくり	
①呑川軸の整備	歩行者空間
②回遊路の整備	歩行者空間
③サインの整備	UD
2-2 快適な歩行者空間の整備	
①安全安心道づくり(バリフリ化)	UD
②蒲・蒲連絡路の整備	歩行者空間
③主要施設誘導路の整備(移動円滑化整備)	UD

目標7 京急蒲田駅周辺のまちづくり	
アクションプラン	テーマ
7-2 京急蒲田駅周辺の新たな魅力づくり	
①再開発、建物共同化等の推進	建物
②周辺施設の整備【完了】	—
③サインの整備	UD
④地域の特徴を活かした魅力づくり	観光

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加



【STEP3】テーマ別整理

「ユニバーサルデザイン」 を扱う目標を設定する	
アクションプラン	出所
AP1:「ユニバーサルデザイン」について扱う	
①ユニバーサルデザイン基本方針に基づくまちづくりの推進	AP9-1①
②心のバリアフリーの推進	AP9-1②
AP2:「バリアフリー」について扱う	
①主要施設誘導路の整備+バリアフリー基本構想の推進	AP2-2③&AP9-2①
②安全安心道づくり	AP2-2①
③民間建築物のバリアフリー化促進	AP9-2②
AP3:「サイン」について扱う	
①サインの整備	AP2-1③&AP7-2③

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定



これまでの経過
を踏まえた対応

F, P (強化)

P (強化)

P (強化)

P (強化)

D, F, P (強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標10 誰もが使いやすく人にやさしいまち	
これまで、道路の段差解消や公共施設のバリアフリー整備などを中心に進めてきましたが、高齢化や国際化などの社会動向も踏まえて、高齢者・障がい者・子ども・外国人などの誰もがが利用しやすい、ユニバーサルなまちづくりが不可欠です。 基盤施設のバリアフリー整備を進めるとともに、「どこでも、誰でも、自由に、使いやすい」を基本に、サービスやサインなどの情報提供なども含めた取り組みにより、人にやさしいまちを目指します。	
アクションプラン	テーマ
10-1 ユニバーサルデザインの推進	
①ユニバーサルデザイン基本方針に基づくまちづくりの推進	
②心のバリアフリーの推進	
10-2 バリアフリー整備	
①バリアフリー基本構想に基づく取組みの推進	
②安全安心道づくり	
③民間建築物のバリアフリー化促進	
10-3 サイン整備	
①駅周辺や主要な歩行者空間におけるサイン整備	

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

D	商業中心軸・呑川軸・東西自由通路・歩行者回遊軸などを対象として、サイン・舗装・植栽等の整備や無電柱化等を推進することにより、歩きたくなる街路空間を形成
F	外国人も安心して訪れ・暮らすことのできるまちづくり
P	増加する外国人(住む人・訪れる)にも対応した、誰もが利用しやすいまちとなるための取組み

現行グランドデザイン

目標11
清潔で美しいまち

自転車、看板、広告物、チラシやごみなどの路上放置物が清潔感を損ない、まちの景観を阻害しています。清掃や見回りなどの美化活動に地域全体で取り組みます。また、統一感ある良好な景観形成に向けてルールを決めるなど、関係者全体で取り組みを進め、清潔感のある美しいまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
11-1 清潔なまちの維持	
①美化活動の促進	美化・景観
②清潔で好感度の高いまちづくり	美化・景観
11-2 美しいまちなみの確保	
①景観計画・ガイドライン等の策定	美化・景観
②歴史的資源等の活用	美化・景観

目標1
いきいき元気な商業のまち

アクションプラン	テーマ
1-1 活気あふれる商店街づくり	
①地域イベントの活性化	商業
②商店街・地域イベントの情報発信	商業
③活力が持続する商店街づくり	商業
1-2 商店街の環境づくり	
①商店街の景観づくり	美化・景観
②環境にやさしい商店街づくり	自然・環境
③清掃や見回り活動	美化・景観

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加

【STEP3】テーマ別整理

「美化・景観」
を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「まちの清潔」について扱う	
①清掃や見回り活動+美化活動の促進	AP1-2③&AP11-1①
②清潔で好感度の高いまちづくり	AP11-1②
AP2:「ガイドライン等の策定」について扱う	
①商店街の景観づくり+景観計画・ガイドライン等の策定	AP1-2①&AP11-2① 追加強化C
②歴史的資源等の活用	AP11-2②

2-ケ(対応)

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定

これまでの経過
を踏まえた対応

C(強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標11
個性と魅力のあるまち

蒲田のまちなかの風景には歴史的な建物を始め、魅力的な場所が多くあります。一方で、路上放置物や看板、広告の無秩序な設置等により、美観が阻害されている場所が数多くあります。多文化都市として誰もが気持ちよく過ごせる環境を整備するため、清掃活動の実施や、清潔感を維持するための意識向上の促進、ルール作りによる景観の一定程度の誘導により、多くの人に受け入れられるまちを目指します。

アクションプラン
11-1 清潔なまちの維持
①美化活動の促進
②清潔で好感度の高いまちづくり
11-2 魅力や個性のあるまちなみの確保
①景観まちづくりの推進
②歴史的資源等の活用

これまでの経過

グランドデザインの改定において追加・強化すべき事項

C	景観づくりに向けた体制や景観ルールづくりなどを進めて、魅力や個性のある商店街の景観整備推進
---	---

第2回専門部会でいただいたご意見

2-ケ	目標11.清潔という表現については、もう少し工夫があった方がよい。 参考：第2回専門部会時 目標「清潔で個性のあるまち」 アクションプラン「11-1 清潔なまちの維持 11-2 緑のやすらぎ空間づくり」
-----	---

現行グランドデザイン

目標12

水と緑のある、潤いを感じるまち

商業エリアである蒲田のまちは、区内のほかの地域と比べ、緑が不足しています。親水空間として考えられる呑川は、自転車駐車場として使用されている箇所や水質の問題があり、十分な活用ができていません。季節の変化や自然の潤いを感じることで空間・環境が求められています。

水と緑を楽しみながら散策できる親水エリアを整備します。また、地域と連携して公園や沿道の緑化を推進しながら潤いのあるまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
12-1 水と緑の散策路づくり	
①呑川軸の整備	歩行者空間
②呑川の水質改善	自然・環境
③緑道、歩道等の再生整備	歩行者空間
12-2 緑のやすらぎ空間づくり	
①魅力ある公園づくり	自然・環境
②魅力ある緑化づくり	自然・環境

目標1

いきいき元気な商業のまち

駅周辺は、商業を中心に発展してきましたが、社会構造や消費者ニーズの変化により商業形態が変わり、競争も激化しています。

イベントの開催や商店街の環境整備などの取り組みを進め、歴史ある蒲田の「あきない」を再活性化させます。また、人をまちに呼び込むために、オフィスなどの業務系事業のための環境整備を図ります。商業で生まれる活力が将来に持続するまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
1-1 活気あふれる商店街づくり	
①地域イベントの活性化	商業
②商店街・地域イベントの情報発信	商業
③活力が持続する商店街づくり	商業
1-2 商店街の環境づくり	
①商店街の景観づくり	美化・景観
②環境にやさしい商店街づくり	自然・環境
③清掃や見回り活動	美化・景観

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見を
踏まえた
項目の追加

【STEP3】テーマ別整理

「自然・環境」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「呑川」について扱う	
①呑川の水質改善	AP12-1②
AP2:「緑」について扱う	
①魅力ある広場づくり+魅力ある公園緑地づくり	AP12-2①②
AP3:「環境配慮」について扱う	
①環境にやさしい商店街づくり	AP1-2②
②(仮)暑さ対策に関する項目	意見2-コ

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定



これまでの経過
を踏まえた対応

2-コ(追加強化)

【STEP4】目標の見直し(案)

目標12

自然を感じ、環境にやさしいまち

蒲田のまちは、緑の総量が少ない、呑川の有効活用ができていないなどの課題から四季や自然を感じることができる空間の形成が求められます。また、近年の夏の猛暑により人々がまちから建物へ誘導されていることも課題です。

自然や潤いを感じ快適に留まっていたくため、公園や道路の緑化や呑川の親水空間整備等により、自然と親しめるまちを目指します。また、人々を猛暑から守り、まちなかに留まり過ごしていただくための環境づくりを目指します。

アクションプラン
12-1 呑川沿いの憩いの空間づくり
①呑川の水質改善
12-2 緑のやすらぎ空間づくり
①魅力ある公園緑地づくり
12-3 環境に配慮したまちづくり
①環境にやさしいまちづくり
②(仮)暑さ対策(緑化・遮熱性舗装など)

これまでの経過

第2回専門部会でいただいたご意見

2-コ 暑さ対策などの環境的な対策を行うことで快適に過ごせる事を入れた方が良い。

現行グランドデザイン

目標10

安全で暮らしやすいまち

耐震性の低い建築物(旧耐震)が数多くあり、大規模地震の際の道路等への倒壊など大きな不安があります。また、犯罪発生を抑制するまちの環境づくりも必要です。すべての人が安心して歩け、まちを楽しんでいただくためには、まちの治安と安全確保が求められます。

建築物の建替えや耐震改修の促進、地域住民の防災意識の向上を図ります。また、地域住民・行政による防犯活動なども行いながら、まちで過ごす人々が安全で安心できる歩行者・居住空間などの都市環境の確保を目指します。

アクションプラン	テーマ
10-1 災害に強いまちづくりの推進	
①建築物の耐震化	防災
②防災意識の向上	防災
10-2 犯罪のないまちづくり	
①治安維持のためのルールづくり	防犯
②地域の力でつくる安全なまち	防犯

目標8

歩行者と自転車が快適に共存できるまち

自転車の利用増に伴い、放置自転車も増えてきました。環境に優しい自転車ですが、車道・歩道などに放置されている自転車は、歩行者や緊急車両などの通行の妨げになっています。

既存自転車駐車場の再整備を行いながら、新たな自転車駐車場の検討などで収容台数を拡充します。また、自転車利用のルールづくりやマナー啓発をさらに図ることで、自転車がみんなの迷惑にならず、自転車利用のしやすいまちを目指します。

アクションプラン	テーマ
8-1 自転車利用対策の推進	
①蒲田駅周辺自転車駐車場の整備	交通
②京急蒲田駅周辺自転車駐車場の整備	交通
③自転車利用環境整備の推進	交通
8-2 放置自転車のないまちづくり	
①放置自転車対策	防犯
②自転車利用者への啓発	防犯

テーマ別整理
+
追加強化や
専門部会意見
を踏まえた
項目の追加

【STEP3】テーマ別整理

「防犯」

を扱う目標を設定する

アクションプラン	出所
AP1:「防犯」について扱う	
①治安維持のためのルールづくり	AP10-2①
②地域の力でつくる安全なまち	AP10-2②
③放置自転車対策+自転車利用者への啓発	AP8-2①②

アクションプラン
への展開も意識
した目標の
タイトルや
説明文の設定

【STEP4】目標の見直し(案)

目標13

安全・安心なまち

蒲田は、夜の治安の悪さや犯罪発生件数、違法駐輪など多くの課題があります。課題解決のためには、犯罪発生を抑制するまちの環境づくりが必要です。

行政・地域住民・商店会・警察などが連携した防犯活動の実施や、自転車盗難防止に向けた啓発活動等を継続することで、若い人や女性なども含めて誰もが安心できるまちを目指します。

アクションプラン
13-1 犯罪の抑止
①治安維持のためのルールづくり
②地域の力でつくる安全なまち
③自転車利用者への啓発(放置自転車、盗難対策など)

6. グランドデザインの目標とアクションプランの見直しについて（まとめ）

【まとめ】

	目標	アクションプラン	※具体的な内容は今後検討していく
基本方針1 活動・交流にぎわいの創出	1.【商業】 いきいき元気な 商業のまち	1-1 活気あふれる商店 街づくり	①活力が持続する商店街づくり
			②地域イベントの活性化
			③商店街・地域イベントの情報発信
	2.【産業・ビジネス】 産業やビジネスが 育つまち	2-1 業務機能の充実	①(仮)大田区内の既存産業と連携した業務機能(ものづくりなど)の誘導
			②(仮)羽田空港と連携した国際的な業務機能(グローバル企業など)の誘導
	2-2 産業支援機能や ビジネス交流機能の 充実	①(仮)育成機能や交流機能の強化 (ワーキング・インキュベーション・ カンファレンスなど)	
		②(仮)羽田空港跡地第一ゾーンとの連携 (羽田の施設と蒲田・大田区の施設間 の情報連携など)	
	3.【暮らし】 多様な人が快適に 暮らせるまち	3-1 生活利便機能の充実	①(仮)快適で便利な暮らしを支える機能 の誘導
		3-2 地域コミュニティの 活性化	①地域活動への呼びかけ・連携 ②外国人との交流の促進
	4.【観光】 国内外と繋がり、 何度も訪れたいまち	4-1 様々な観光施策の展開	①(仮)観光資源の発掘・創造
			②(仮)観光資源の情報発信 (情報サイト・マップ・イベントなど)
			③(仮)観光に携わる人材の育成 (観光サポーター・地域ガイドなど)
④(仮)多言語化への対応 (案内板・商店向け会話集など)			
⑤(仮)羽田空港と連携した施設の充実 (観光案内・空港利用者向けの宿泊 機能など)			
基本方針2 都市空間の充実	5.【駅・駅前広場】 ゆとりを感じる利便性 の高い駅と基盤施設	5-1 蒲田駅の再整備	①蒲田駅再生整備の促進
			②新空港線の整備との連携
		5-2 蒲田駅東西自由通 路の整備	①既存東西連絡通路の改善
			②東西自由通路の検討
	5-3 駅前広場の整備 と活用	①交通結節機能の向上	
		②快適な駅前環境づくり	
		③(仮)まちの回遊性向上に資する駅前広 場の整備	
		④(仮)駅前広場の活用	
	5-4 新空港線への乗り 換え・乗降の利便 性の確保	①(仮)JR線と新空港線の乗換え空間の 整備	
		②(仮)京急線と新空港線の乗換え空間の 整備 ③(仮)まちと新空港線をつなぐ動線確保	
	6.【歩行者空間】 歩いてめぐり楽しめる まち	6-1 歩きたくなる歩行者 空間のまちづくり	①(仮)歩行者優先のまちづくり
			②呑川軸の整備
③にぎわい・回遊軸の整備			
6-2 歩行者に配慮した 車両の誘導		①(仮)地域特性に応じた車両誘導 (駐車場隔地、荷捌き集約化等の検討)	

	目標	アクションプラン	※具体的な内容は今後検討していく
基本方針2 都市空間の充実	7.【交通】 様々な手段で 快適に移動できるまち	7-1 多様な移動手段の 活用	①既存交通網の充実(空港直行バス・路線 バスの経路検討) ②(仮)コミュニティサイクル ③(仮)回遊を促す新たなモビリティの検討
		7-2 自転車利用対策 の推進	①自転車駐車場の整備 ②自転車利用環境整備の推進
	8.【建物】 建物の更新や活用が 進むまち	8-1 建物の共同化・ 協調化・建替え の促進	①商業を中心に住居と融合した土地利用 ②公共空間の拡充(公開空地の設置誘導など) ③地区計画の導入 ④建物の建替えの促進
		8-2 建物ストックの有効 活用	①(仮)建物のリノベーションやコンバージョンの 促進
基本方針3 安全・快適な環境の確保	9.【防災】 災害に強いまち	9-1 災害対策の拠点 形成	①(仮)災害時対応における拠点としての役割 ②(仮)都市機能の継続性の確保 (交通・電力・通信など) ③(仮)官民が連携した防災体制の構築
		9-2 減災に向けた 取り組み	①建築物の耐震化 ②(仮)無電柱化の推進
		9-3 災害発生時における 備え	①(仮)避難対応・帰宅困難者対応など
	10.【ユニバーサル デザイン】 誰もが使いやすく 人にやさしいまち	10-1 ユニバーサル デザインの 推進	①ユニバーサルデザイン基本方針に基づく まちづくりの推進 ②心のバリアフリーの推進
		10-2 バリアフリー 整備	①バリアフリー基本構想に基づく取組みの 推進 ②安全安心道づくり ③民間建築物のバリアフリー化促進
		10-3 サイン整備	①駅周辺や主要な歩行者空間におけるサイ ン整備
	11.【美化・景観】 個性と魅力のあるまち	11-1 清潔なまちの 維持	①美化活動の促進 ②清潔で好感度の高いまちづくり
		11-2 魅力や個性の あるまちなみ の確保	①景観まちづくりの推進 ②歴史的資源等の活用
	12.【自然・環境】 自然を感じ、 環境にやさしいまち	12-1 呑川沿いの憩い の空間づくり	①呑川の水質改善
		12-2 緑のやすらぎ 空間づくり	①魅力ある公園緑地づくり
		12-3 環境に配慮した まちづくり	①環境にやさしいまちづくり ②(仮)暑さ対策(緑化・遮熱性舗装など)
	13.【防犯】 安全・安心なまち	13-1 犯罪の抑止	①治安維持のためのルールづくり ②地域の力でつくる安全なまち ③自転車利用者への啓発 (放置自転車、盗難対策など)